

粗鋼生産2013年度上半期(4~9月) 5,579万t、1.9%増加

日本鉄鋼連盟が集計した2013年度上半期(4~9月)の粗鋼生産は5,579万t、前年同期比1.9%増となった。

928万t、5.5%増加している。炉別では転炉鋼713万8千t、5.3%増加、電炉鋼214万7千t、6.1%増となった。

ちなみに9月単月では粗鋼生産

転炉鋼2ヶ月ぶりに増加、電炉鋼は2ヶ月連続の増加である。

全国鉄鋼生産高

(単位: 1,000M/T)	2013年9月(当月)			2013年8月(前月)	2013年1月~2013年9月		2013年4月~2013年9月	
	生産高	前月比(%)	前年同月比(%)		生産高	前年同期比(%)	生産高	前年同期比(%)
鉄	6,932.4	97.0	103.2	7,143.3	62,796.8	102.4	42,242.8	102.1
製鋼用鉄	6,912.9	97.1	103.1	7,122.0	62,576.4	102.3	42,091.9	102.0
鋳物用鉄	19.5	91.6	130.1	21.3	220.4	110.9	150.9	126.9
粗鋼	9,284.7	101.5	105.5	9,143.9	82,429.8	101.4	55,792.6	101.9
転炉鋼	7,137.7	98.0	105.3	7,287.0	63,993.9	102.7	43,313.5	102.7
電炉鋼	2,147.0	115.6	106.1	1,856.9	18,436.0	96.9	12,479.1	99.0
普通鋼	7,234.5	102.1	105.0	7,083.9	64,186.9	102.7	43,334.0	102.5
特殊鋼	2,025.2	99.6	107.7	2,033.7	17,980.3	97.0	12,283.1	99.9
鋳鋼	25.0	94.8	83.1	26.4	262.6	87.0	175.5	88.7
普通鋼合計	7,248.2	102.1	105.0	7,096.5	64,317.6	102.7	43,421.3	102.5
特殊鋼合計	2,036.5	99.5	107.4	2,047.4	18,112.2	97.0	12,371.3	99.8
熱間圧延鋼材合計	8,242.2	102.9	105.6	8,010.8	72,442.5	100.5	48,567.0	101.3

(参考) 2013年8月分(単位:M/T)

- ・普通鋼熱間圧延鋼材 販売高 4,195,723
月末在庫高 2,841,352
- ・特殊鋼熱間圧延鋼材 販売高 1,193,127
月末在庫高 831,258

注) 四捨五入の関係で内訳の計と合計値は必ずしも一致しないことがあります。

粗鋼生産が6%近い伸び率を示したことは日本経済が上向きに転じたことを示している。また、電炉鋼の回復は建設向け需要回復を示しており、東北復興需要や東京オリンピック向けなどが要因として挙げられている。特殊鋼は自動車分野が牽引役である。

鋼種別では普通鋼が724万8千t、5.0%増加、特殊鋼は203万6千t、7.4%増加である。普通鋼は2ヶ月ぶりの増加、特殊鋼は3ヶ月連続の増加である。

工業用電融酸化マグネシウム

DENMAG®

電気熔融法により、高塩基性で耐スポーリング性を向上させた耐火物用酸化マグネシウム

- タテホ化学工業株式会社は1960年に、日本で初めて電融酸化マグネシウムの工業化に成功しました。
- 以来、独自の電融操作、高温焼成、粉体コントロール技術のノウハウを積み重ね、高品質、高純度の電融酸化マグネシウムを安定供給しています。
- 当社の電融酸化マグネシウムは、電融技術によって成長させた大型結晶を粉砕して製造しているため、重焼酸化マグネシウム(マグネシアクリンカー)よりもさらに、化学的安定性、耐湿性及び電気絶縁性に優れており、耐火煉瓦や絶縁充填材として用いられています。

※ 工業用の他に、ヒーター用(電熱用)の各種グレードも取り揃えております。

グレード	DENMAG® SSP#3	DENMAG® KMA-X	DENMAG® KMAO-H	DENMAG® KMAOH-F
特長・用途	高純度グレード(原子力関係電気絶縁材料、高純度セラミクス原料)	大粒径グレード(高級塩基性耐火物[マグカーボン煉瓦、スタンプ材、連続鋳造用耐火物])	標準グレード(電気絶縁材料、セラミクス原料、自動車ブレーキ用原料)	細粒グレード(電気絶縁用硝子原料、セラミクス原料、自動車ブレーキ用原料)
MgO (%)	99.8	99.1	99.2	99.3
CaO (%)	0.05	0.50	0.47	0.42
SiO ₂ (%)	0.01	0.19	0.15	0.14
Al ₂ O ₃ (%)	0.02	0.04	0.04	0.04
Fe ₂ O ₃ (%)	0.02	0.07	0.06	0.06
B ₂ O ₃ (%)	0.01	0.01	0.01	0.01
粒度	■ 80 mesh pass ■ 100 ~ 200 mesh ■ 200 mesh pass	■ 5 ~ 3 mm ■ 3 ~ 1 mm ■ 1 mm pass	■ 40 ~ 325 mesh ■ 50 ~ 200 mesh	■ 200 mesh pass ■ 330 mesh pass

※ ここに示すデータは測定値であり保証値ではありません。



Tateho Chemical Industries Co., Ltd.
タテホ化学工業株式会社

2012年耐火物生産量 93万7千t、4%減少

耐火物協会（東京都港区銀座、会員40社、維持会員29社）がまとめた2012年度の耐火物生産量は93万7千t、4%減産となった。東日本大震災のあった2011年より低い水準となった。

生産量内訳は、耐火物煉瓦26万7千t、不定型耐火物67万tとともに10%の落ち込みを示した。

また、販売量は98万8千t、45%減、耐火煉瓦30万2千t、8%減、不定型耐火物68万6千t、2%減であった。販売先部門別内訳は耐火物煉瓦で鉄鋼21万9千t（構成比73%）、7%減、非鉄金属6千t（同2%）、0.7%増、機械1万7千t（同4%）、セメント1万7千t（同6%）、6.3%増、ガラス6千t（同2%）、30%減、輸出1万1千t（同4%）、20%減などとなっている。不定形耐火物では、鉄鋼53万5千t（同78%）、2%減、非鉄金属5千t（同1%）、15%減、機械2万2千t（同3%）、1%減、輸出1万6千t（同2%）、6.3%増などと

なっている。

輸入量は23万4千t、20%減、金額は27.4億54百万円、6.7%減となっている。

ちなみに、2013年第1四半

耐火物の生産・販売・在庫

(単位：千t)

年度	生産	出荷数量	販売金額 (百万円)	在庫
2010	1,002	1,062	163,286	81
2011	978	1,030	151,762	85
2012	937	988	142,332	84

- (注) 1. 2010年度において東日本大震災の影響より会員会社1社2月・3月含まず。
2. 2010年度販売金額において会員会社2社10月～3月含まず。
3. 2011年度において東日本大震災の影響より会員会社1社4月・5月含まず。
4. 2011年度・2012年度販売金額において会員会社2社含まず。

耐火物の輸出入

(単位：千t)

年度	輸出		輸入	
	数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)
2010	82	42,043	341	35,009
2011	80	35,794	294	29,429
2012	79	32,792	234	27,454

(出所) 財務省日本貿易統計による

期耐火物生産量定形耐火物は6万6千t、不定型耐火物は15万6千tであった。
マグネシアクリンカー2012年生産量10万7千t、0.7%減

日本セラミックス協会（東京都新宿区）が、まとめた2012年（暦年）のマグネシアクリンカーの生産量は10万7千t、0.7%減となった。輸出入は、輸出量3万t、10%減、輸入量18万8千t、18%減となった。

マグネシアクリンカー生産・出荷・在庫動向

(単位：千t)

	生産	出荷	在庫
2010年	100	105	26
2011年	107	106	27
2012年	107	107	27
(対前年比%)	99.3%	100.6%	101.5%

マグネシアクリンカー需要関係

(単位：千t)

項目	暦年	2010	2011	2012	対前年比 (%)
		粗鋼生産高	109,600	107,595	
耐火物	生産高	986	926	902	97.5%
	内マグネシア関係	293	263	255	96.8%
マグネシアクリンカー需要	耐火物向け	258	251	237	94.4%
	鉄鋼、その他向け	118	116	113	97.4%
	輸出	28	34	30	90.1%
	合計	404	401	380	94.9%
マグネシアクリンカー供給	国内生産高	100	107	107	99.3%
	輸入	240	229	188	82.1%
	合計	340	336	295	87.6%